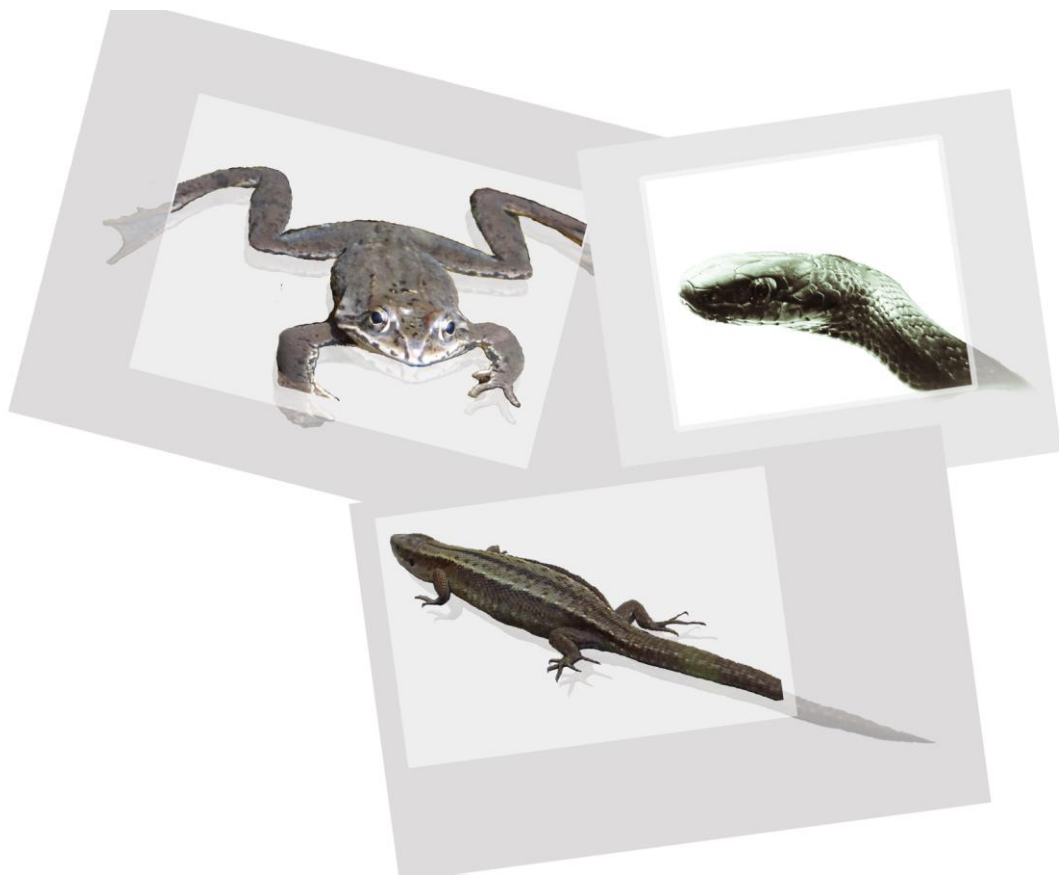


日本爬虫両棲類学会 第 52 回大会プログラム

2013 年 11 月 2 日（土）～11 月 3 日（日）

東海大学札幌校舎



大会日程 2013年11月2日(土)・11月3日(日)

11月2日(土)		11月3日(日)	
08:30	受付開始	08:30	受付開始
10:00-10:15	開会式	09:15-10:15	口頭発表
10:15-12:30	口頭発表	10:30-11:30	総会
12:30-13:30	昼食・休憩	11:30-12:00	集合写真撮影
13:30-15:00	ポスター発表	12:00-13:00	昼食・休憩
15:00-17:15	口頭発表	13:00-14:30	ポスター発表
18:30-20:30	懇親会	14:45-15:45	口頭発表
		15:45-16:00	閉会式
			自由集会

会場：札幌市南区南沢 東海大学札幌キャンパス（3-4 ページの図を参照ください）

口頭発表会場：ノースウィング3階 311 教室（A 会場）国際交流会館MMホール（B 会場）

ポスター発表会場：ノースウィング2階 211 教室

総会：ノースウィング3階 311 教室（A 会場）

各種展示・販売：ノースウィング2階スタジオ1

クローク：ノースウィング3階 309 教室

休憩室：ノースウィング2階209教室，3階308教室 お茶やお菓子をご用意しています。

懇親会：11月2日（土）18:30-20:30 アパホテル&リゾート札幌（送迎バスで移動）

（アパホテル&リゾート札幌に宿泊の方は11月3日朝，会場へのバスサービスがございます。本大会参加者はシングル1泊5千円、ツイン1泊1名4千円の宿泊料での利用が可能です。申込みは、電話〈011-571-3111〉にて爬虫両棲類学会大会参加と伝えてホテルに直接申込み下さい。それ以外の宿泊施設についても各自でお願いします。）

開催地の気候

開催地の札幌の11月初めの気候は，日平均気温の平均が8℃，日最低気温の平均が4℃，日最高気温の平均が13℃ほどです。温かい服装でお越しください。

交通のご案内

- ・千歳空港－札幌（札幌駅方面）
JR 快速エアポート 15分おき発 36～38分
北都交通，中央バス 約70分
- ・千歳空港－真駒内・アパホテル&リゾート札幌
北都交通 約70分（20分発と50分発の30分ごと）
（空港バスは，各方面19:30頃以後はANA最終便着までの不定時運行となります．札幌方面共通の4枚綴り回数券があります．）
- ・札幌駅（大通り，ススキノ）－真駒内
地下鉄南北線 約25分（SUICA等使用可）
- ・真駒内－東海大学前 じょう鉄バス（南沢線 南96番，環96番）
南沢先回り 約30分，中ノ沢先回り 約20分
- ・定山溪温泉方面－東海大学
じょう鉄バスで藻岩公園前下車，川沿10条から東海大学前行きバス
- ・アパホテル&リゾート札幌－東海大学
ホテル前の国道を渡って川沿5条から東海大学前行きバス 約20分
徒歩 約25分
- ・タクシー（東海大学まで）
アパホテル&リゾート札幌 約800円 札幌駅 約3000円
ススキノ 約2500円 地下鉄真駒内 約1500円
大学付近のタクシー：観交ハイヤー 011-571-8421， 寿ハイヤー株式会社 011-571-5151

大会事務局：〒005-8601 札幌市南区南沢5-1 東海大学生物学部 竹中踐

email: hsj52@zoo.zool.kyoto-u.ac.jp

TEL: 011-571-5111（内線431）

FAX: 011-571-7879（竹中宛てと明記のこと）

注意：会期中の電話やメール対応はできかねますが，連絡等がありましたら，メールでお願いします．



東海大学 札幌キャンパス

〒005-8601 北海道札幌市南区南沢5条1-1-1
TEL : 011-571-5111 (代表)



アクセスマップ

Access Map



東海大学札幌キャンパスへの交通アクセス詳細



地下鉄南北線「真駒内」駅より「じょうてつ」バス(南96番または環96番)乗車(約20分)。「東海大学前」下車徒歩すぐ
「じょうてつ」バスの「東海大学前」行き時刻表はこちら
「じょうてつ」バスの「真駒内駅」行き時刻表はこちら

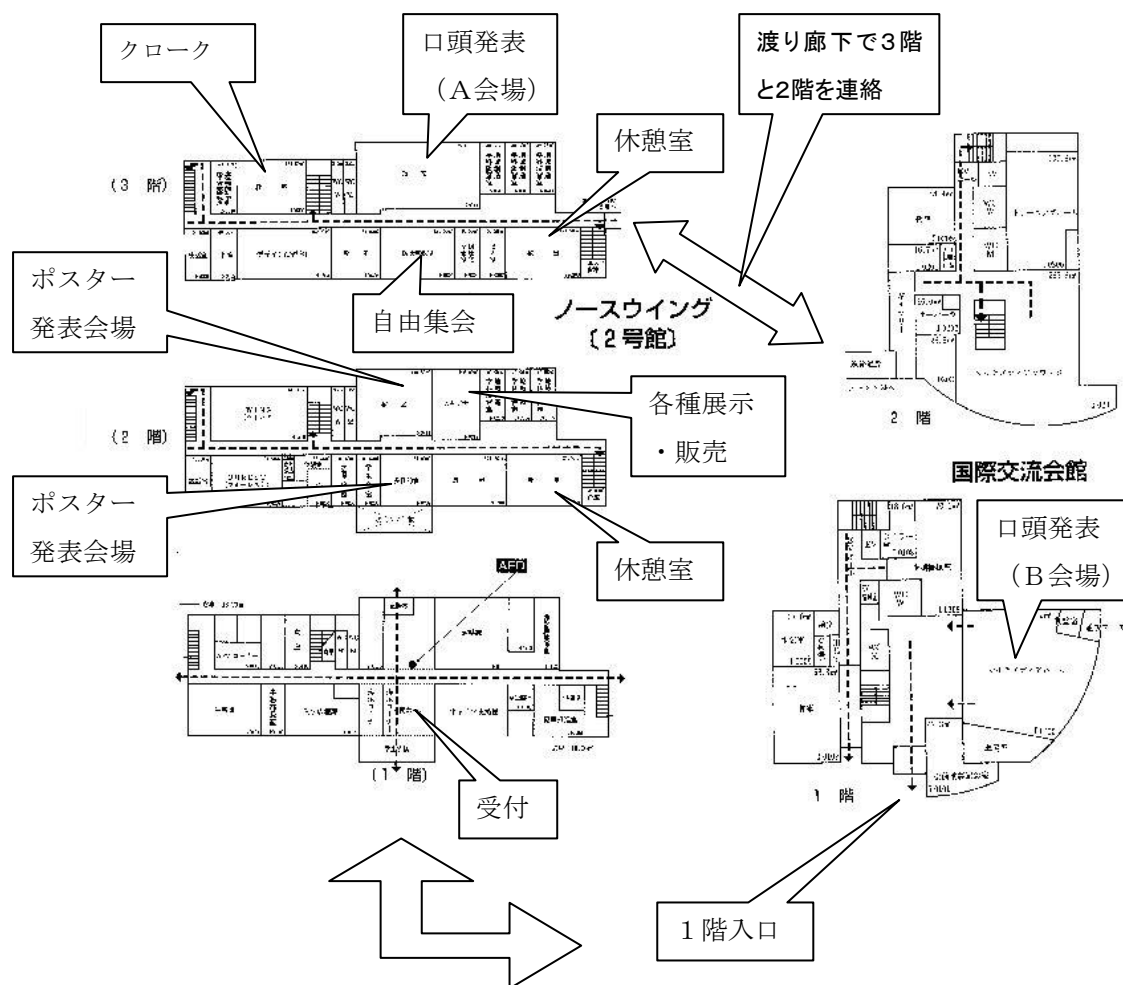


校舎内マップ

Campus Map



Copyright © Tokai University All rights reserved.



大会のご案内

ー受付ー

受付は校舎ノースウイングの玄関ホールです。受付を済ませましたら、2階・3階会場にお進み下さい。

11月2日(土)・11月3日(日)とも受付開始は8時30分です。

参加申込をされている方は受付で名札等をお受け取り下さい。領収書が必要な方は申し出てください。

当日参加の方は大会参加費 3500 円をお支払いの上、プログラムと名札をお受け取りください。

ー昼食ー

11月2日はメッセ2階の第一食堂が利用できます。11月3日は、弁当を予約されている方は受付時にお渡しする引換券をお出し頂き、お受け取りください。

大学付近にコンビニエンスストアとラーメン屋1軒しかありません。

ー懇親会ー

11月2日18時30分～20時30分にアパホテル&リゾート札幌において開催されます。事前に申込をされている方の名札にはシールが貼られていますのでご確認ください。なお、当日参加も受け付けますので2日午前中に受付で5500円をお支払の上、お申込みください。シール付名札をお渡します。

大会第1日目終了後にホテルの送迎バスで会場に移動します。

ー総会ー

11月3日10:30より、口頭発表A会場（N311教室）において開催いたします。

ー集合写真撮影ー

11月3日（11:30-12:00）、総会が終わり次第、校舎前にて大会参加者全員の記念写真撮影を行いますのでお集まりください。写真は会誌に掲載されますので写真を申し込まれていない方もお集まりください。

ークローカーー

ノースウィング3階309教室にクローカーを準備します。11月2日は17時30分、11月3日は15時30分に閉鎖しますので、それまでに荷物をお受け取りください。

ー自由集会ー

大会終了後11月3日16:00頃より開催します。カメ会議（ノースウィング3階視聴覚教室）が予定されています。

講演される方へ

口頭発表をされる方

時間

講演は1題につき発表時間12分、質疑応答が3分です。10分、12分、14分30秒に予鈴を鳴らします。

スライド数に制限はありませんが、発表時間を厳守して下さい。

使用ソフト

Windows(8)とMacOS Xを用意します。使用できるソフトはMicrosoft PowerPoint (Windows版はOffice 2010、Mac版はOffice 2011)とAdobe (Acrobat) Readerです。なお、個人のノートパソコンのプロジェクターへの接続はできません。あらかじめご了承下さい。

発表データ

当日は、発表用ファイルをCDにてご持参下さい。CDの不具合も予想されますので、万一に備えフラッシュメモリー等でもバックアップをご用意頂ければ幸いです。なお、当日の受付は混雑が予想されますので、時間に余裕を持ってお越しください。可能な方はCDの事前提出をお願いいたします。大会事務局まで郵送していただければ、事務局で作動を確認した上で連絡を差し上げます。

発表データの提出

当日の発表データ提出に関しては、「口頭発表データ受付」（大会受付横）にコンピューターを用意いたしますので、各自作動を確認した上で、早めにCDを受付にご提出下さい。11月3日発表の方はできるだけ前日の提出をお願いします。発表時間直前の提出ですと、最悪の場合、発表できない事態も考えられますので、くれぐれもご注意ください。

注意事項

備え付けのコンピューターの使用は、ファイルのコピーとファイルの作動の確認のみにとどめてください。受付でのファイル編集作業は、他の発表者の方々のご迷惑になりますので、かたくお断り申し上げます。

PowerPointで作成される場合は、文字化けやレイアウトのずれがないよう、システムに含まれるフォント（MSゴシック等）を使用すること、各スライドには余白を十分に取ること、アニメーションを入れずに製作することをお勧めいたします。特にPowerPointのバージョンが異なると、レイアウトが変わることがありますのでご注意ください。上のバージョンをご使用でない方、ご心配な方はPDF形式でも保存しておく等の対応をお願い申し上げます。

ポスター発表をされる方

ポスター会場のパネルに講演番号を付けてありますので、所定の場所に2日（土）の10時までに貼って下さい。ポスターパネルの大きさは、幅120cm×高さ180cmです。

奇数番の発表者は主に2日（土）、偶数番の発表者は主に3日（日）のポスター発表の時間にポスター前にお立ち下さい。ポスターは、2日（土）の9:00からお貼りいただいて結構です。また、3日（日）の16:00までに剥がして下さい。この時刻までに剥がされていないポスターは事務局で処分いたします。

講演要旨の提出

電子データでの提出をお願いします。詳細は次の和文誌編集委員会からのお知らせをご覧ください。

日本爬虫両棲類学会第52 大会 講演要旨の作成と提出に関する要項

◆はじめに

今大会の講演要旨は、爬虫両棲類学会報第2014 巻第1 号に掲載されることになっています。講演要旨を掲載するにあたっては、原稿の回収や編集が大きな負担となるため、次のような要項で講演要旨の電子データによる提出をお願いしております。今大会も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、どうしても電子データの提出が困難な場合は手書き原稿のみで結構です。

◆講演要旨作成について

口頭発表、ポスター発表とも講演要旨を作成して下さい。表題、発表者氏名、所属、英文表題、英文氏名、本文の順にお書き下さい。本文の字数は660 字 (22 字 x 30 行) 以内、英文の場合は200 words 以内です。

レイアウトは爬虫両棲類学会報第2013 巻第1 号の学会大会講演要旨をご参照下さい。手書きの場合は400字詰め原稿用紙にお書き下さい。なお、爬虫両棲類学会報は和文を原則としているので、外国人の方が主発表者の場合でも、日本人の方が共同発表者に入っている場合は、和文の要旨をご用意ください。

◆電子データ提出について

1. メールをご利用になる方

10 月 31日AM10 時までに講演要旨をメールの添付ファイルとしてお送り下さい。利用できるワープロソフトは、MS ワード、またはMS ワード互換ソフトです。他のソフトの場合も、MS ワードで読み込める形式（拡張子doc またはdocx）のファイルを作成して下さい。ワードファイルをメールでお送りいただいた場合は、大会当日に印刷原稿をお持ちいただく必要はありません。ワードファイルを作れない場合は、メールの本文に講演要旨を入れてください。ただし、その場合は、イタリック体や特殊文字が利用できませんので、それらを指示した印刷原稿を大会当日に受付に提出してください。

2. 添付するファイル名について

ファイル名は、必ず『講演番号-第1 発表者氏名』としてください。講演番号は半角の大文字とし、講演番号と第1 発表者名の間には、半角の-を挿入してください。

(例：P-99-南沢吾一.doc)

講演要旨送り先アドレス：hsj52@ml.keio.jp

3. メールをご利用にならない方

大会当日に印刷原稿とその電子データをご提出下さい。利用出来るワープロソフトはメールの場合と同じです。それらのソフトがない場合は、テキスト形式のデータをお願いします。電子データは、CD-R、CDRWのいずれかに保存してください。特にご要望のない限り、媒体の返却は致しませんのでご了承下さい。提出はいつでも大会受付をお願いします。

注意：パソコンで表記出来ない漢字が含まれる場合は、表記可能な漢字に代替して頂くか、それが困難な場合は、印刷原稿に指定の漢字を朱書きしてご提出下さい。

◆手書き原稿のみを提出の場合

口頭発表、ポスター発表ともに、大会当日に受付へご提出下さい。

日本爬虫両棲類学会 和文誌編集委員会

講演プログラム (○は共同発表の演者)

11月2日10:15-11:15 口頭発表 (A会場)

座長 松島野枝

- A-01 ○斎藤和範(旭大地研)・青田貴之(旭川市教育委)・八谷和彦・中川裕樹(道拓殖短大)・ビッキーズ(ざりがに探偵団)
石狩川中下流域にみられる国内外来種アズマヒキガエルの分布状況と防除活動
- A-02 ○原村隆司(京大・白眉センター)・Michael Crossland (Sydney Univ.)・Richard Shine(Sydney Univ.)
種内競争(共食い)を利用したオオヒキガエルの駆除法
- A-03 ○福山欣司(慶応大・生物)・松本千枝子・松本貢(竹富町)
オオハナサキガエルの繁殖地に現れる鳥類とほ乳類
- A-04 ○松井正文・西川完途・吉川夏彦(京大・人間・環境)
京都産オオサンショウウオ交雑の現状

11月2日11:30-12:30 口頭発表 (A会場)

座長 岡本 卓

- A-05 ○三浦郁夫(広島大)、尾形光昭(横浜市繁殖センター)
ツチガエルの性決定機構はなぜ変化するのか?
- A-06 ○住田正幸・Islam M. Mafizul・井川武・倉林敦(広島大・院理・両生類研)・古川友加里・佐野尚美・藤井保(県立広島大・人間文化)・吉崎範夫(岐阜大・応用生物)
透明ガエルの遺伝様式と皮膚色素細胞の組織学的観察
- A-07 ○鈴木大・會津光博・曹炯柱(九大・院・比文)・菊水研二(元岡「市民の手による生物調査」)・西田伸(宮大・教文)・疋田努(京大・院・理)
マイクロサテライト解析に基づくニホンイシガメの集団遺伝構造
- A-08 ○太田英利(兵庫県立大・自然研)・河村功一(三重大・生物資源)
日本国内におけるスッポン個体群の遺伝的変異

11月2日12:30-13:30 昼食・休憩

11月2日13:30-15:00 ポスター発表

11月2日15:00-16:00 口頭発表 (A会場)

座長 森口 一

- A-09 ○柴田弘紀・山本真由美・タケット奈々(九大・生医研)・小川智久(東北大・生命科学)・森一樹(九大・農)・千々岩崇仁(崇城大・生物生命)・服部正策(東大・医科研)・上田直子(崇城大・薬)・久原哲(九大・農)・大野素徳(崇城大・生物生命)・服巻保幸(九大・生医研)
日本固有の毒蛇ハブ(*Protobothrops flavoviridis*)の全ゲノム配列決定と繰り返し配列の解析
- A-10 ○森哲(京大・理・動物)・ゴードン バーグハート(テネシー大)
ヤマカガシの防御行動はヒキガエル食の影響を受けるか?
- A-11 タンダバニジ=ノンティビチ(チュラロンコーン大・生物)・栗田隆気(琉球大院・理工)・○戸田守(琉球大・熱生研)
マダラウミヘビは本当に日本の沿岸に分布するのか?
- A-12 ○木寺法子(台湾師範大・生命科学, 国立環境研)・森哲(京大・理・動物)・杜銘章(台湾師範大・生命科学)
エラブウミヘビ類の淡水源アクセス方法について

11月2日16:15-17:15 口頭発表 (A会場)

座長 岩井紀子

- A-13 疋田努(京大・理・動物)
琉球列島の生物地理学再考

A-14 Haevey B. Lillywhite (Univ. Florida)

Freshwater requirements of sea snakes

A-15 Hai Ngoc Ngo (Hanoi National Museum of Nature)

The Trafficking Turtle in Vietnam

A-16 ○Islam Mohammed Mafizul (Inst. Amphibian Biol., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.), Oumi Sohei (Sec. Agricul. and Forestry, Amami, Kagoshima), Hitoshi Ida (Sch. Marine Biosci., Kitasato Univ.) and Masayuki Sumida (Inst. Amphibian Biol., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.)

Genetic divergence and postmating isolation among several brown frog species from Honshu and Ryukyu of Japan, and Mongolia elucidated by mitochondrial gene sequence analyses, crossing experiments and subsequent cytological observations of their hybrids and controls.

懇親会 (アパホテル&リゾート札幌)

11月3日 9:15-10:15 口頭発表 (A会場)

座長 戸田光彦

A-17 ○尾形光昭 (横浜市繁殖センター)・百崎孝男 (京都市)・三浦郁夫 (広島大・院理・両生類研)

ツチガエルの XY 型と ZW 型集団の交雑

A-18 ○川原康寛・松井正文 (京都大・人間・環境)

日本産アオガエル属 2 種の系統地理

A-19 ○江頭幸士郎・松井正文 (京都大・人間・環境)

長崎県五島列島産タゴガエルについて

A-20 ○ノエリカントラマモンジス・夏原由博・ハリスラコトノエリ (名古屋大)

餌の硬さと同種の密度がおたまじゃくしの摂食行動に及ぼす影響

11月3日 10:30-11:30 総会

11月3日 11:30-12:00 集合写真撮影

11月3日 12:00-13:00 昼食・休憩

11月3日 13:00-14:30 ポスター発表

11月3日 14:45-15:45 口頭発表 (A会場)

座長 小林頼太

A-21 ○佐藤孝則 (天理大・おや研)・堤公宏 (ズコーシャ・総科研)

墜落わなを用いたエゾサンショウウオの活動性解析

A-22 ○塩崎大・長谷川雅美 (東邦大・生物)

山岳域の地すべり地帯は止水性両生類の好適生息地となりえるか?

A-23 ○見澤康充 (建設環境研究所)・松井正文 (京大・人間・環境)

京都鞍馬二ノ瀬町の小溪流におけるヒダサンショウウオの現状

A-24 ○山本 一成・永野 昌博 (大分大・教育)

溶存酸素量がオオイタサンショウウオの卵の生存と発生速度に及ぼす影響

11月3日 15:45-16:00 閉会式

自由集会 (カメ会議: 視聴覚室)

11月2日10:15-11:15 口頭発表 (B会場)

座長 疋田 努

- B-01 鈴木大輔 (札幌大・生体工学)
インドガビアルの足関節の運動学
- B-02 ○三笠友彰・細谷和海 (近大院農)
クサガメのラスケ腺の微細構造
- B-03 ○上野真太郎 (東京大・農・生圏)・佐々井浩志 (北須磨動物病院)・亀崎直樹 (須磨水/東京大・農・生圏)
ニホンイシガメとクサガメ、および交雑個体の頭部・甲羅の形態比較
- B-04 ○岡本慶 (東大・農・生圏)・西川完途 (京大・人間・環境)・亀崎直樹 (須磨水/東大・農・生圏)
アオウミガメ *Chelonia mydas* における外部形態の地理的変異

11月2日11:30-12:30 口頭発表 (B会場)

座長 矢部 隆

- B-05 ○多田哲子・坂雅宏 (京都府保環研)
ウミガメ種間における微量元素蓄積特性の比較
- B-06 ○亀崎直樹 (ウミガメ協/須磨水)・渡辺紗綾・石原孝・岡本慶・宮内叶 (ウミガメ協)
日本沿岸におけるアオウミガメの移動
- B-07 ○石原孝 (東大院・農/日ウミガメ協)・興克樹・水野康次郎 (奄海研)・嘉陽宗則 (日ウミガメ協)・山下芳也 (OSTN)・浜端朋子 (京大・院・理)・亀崎直樹 (須磨水/東大院・農)
南西諸島で産卵するアカウミガメの特性
- B-08 ○笹井隆秀 (須磨水)・戸田守 (琉球大・熱生研)
キシノウエトカゲの生活史：特に成長と繁殖について

11月2日12:30-13:30 昼食・休憩

11月2日13:30-15:00 ポスター発表

11月2日15:00-16:00 口頭発表 (B会場)

座長 島田知彦

- B-09 伊藤真 (京大・動物行動)
トノサマガエルとナゴヤダルマガエルの雌における繁殖期の鳴き声使用
- B-10 ○掛橋竜祐・井川武・住田正幸 (広島大・理・両生類研)
絶滅危惧種ホルストガエルにおける遺伝的集団構造
- B-11 ○井川武 (広島大・院理・両生類研)・長岡麻衣 (県立広島大・人間文化・健康)・野澤昌文 (遺伝研・遺伝情報)・小巻翔平 (広島大・院理・両生類研)・藤井保 (県立広島大・人間文化・健康科学)・住田正幸 (広島大・院理・両生類研)
Ion Torrent PGM を用いたハナサキガエルにおけるマイクロサテライト遺伝子座の単離と集団構造解析
- B-12 ○坂雅宏・多田哲子 (京都府保環研)・鎌田洋一 (岩手大・農)
メチルチオトリアジン系除草剤によるカエル後期発生への毒性影響について

11月2日16:15-17:30 口頭発表 (B会場)

座長 林 光武

- B-13 ○渡辺愛・井川武・鈴木厚・柏木昭彦・倉林敦 (広島大・院理・両生類研)・藤井保 (県立広島大・人間文化・健康)・住田正幸 (広島大・院理・両生類研)
両生類モデル動物ネツタイツメガエル6系統における近交度及び遺伝的関係の解明
- B-14 ○島田知彦・前田翔太 (愛教大・理科・生物)・松井正文 (京大・人間・環境)・富永篤 (琉球大・教育)
知多半島産のアカハライモリについて

B-15 ○富永篤（琉球大・教育）・松井正文・吉川夏彦（京大・人間・環境）

中国地方で側所的に分布するアカハライモリ 2 群の遺伝的、形態学的比較

B-16 ○西川完途・松井正文（京大・人間・環境）・ウィチュット=コンスー（チュラロンコン大）・ポッラ
ウィー=ポムチョート（京大・霊長研）・江頭幸士郎（京大・人間・環境）・タオ=ティーエン=グエン
（ベトナム国立自然博）

インドシナ産ミナミイボイモリ属数種の分類について

B-17 ○吉川夏彦・松井正文（京大・人間・環境）

最近記載された日本産ハコネサンショウウオ属について

懇親会（アパホテル&リゾート札幌）

11月3日9:15-10:15 口頭発表（B会場）

座長 鈴木 大

B-18 ○皆藤琢磨（琉大院・理工）・戸田守（琉球大・熱生研）

各島嶼におけるガラスヒバアの集団構造：奄美諸島と沖縄諸島の比較

B-19 ○村上勇樹・菅原弘貴（首都大・生命）・高橋洋生（自然研）・林文男（首都大・生命）

小笠原諸島におけるオガサワラヤモリのマイクロサテライト解析

B-20 ○岡本卓・栗田和紀（京大・理・動物）・早野あづさ（京大総合博物館）・村山美穂（京大・野生研）
ホールゲノムショットガンシーケンシングを用いたヒガシニホントカゲ・オキナワトカゲ（トカゲ科、
有鱗目）のマイクロサテライトマーカー開発

B-21 ○村上新（東邦大・院）・栗山武夫・長谷川雅美（東邦大・理）

シマヘビにおけるストライプパタンの個体発生—色素細胞の観察—

11月3日10:30-11:30 総会

11月3日11:30-12:00 集合写真撮影

11月3日12:00-13:00 昼食・休憩

11月3日13:00-14:30 ポスター発表

11月3日14:45-15:45 口頭発表（B会場）

座長 持田浩治

B-22 ○高橋洋生・岸本年郎（自然研）・林文男・菅原弘貴（首都大）・藤田曜・戸田光彦・鋤柄直純（自然研）
兄島で発見された外来生物グリーンアノールの生物学的特性と防除の取り組み

B-23 城野哲平（CIB）

ニホンヤモリの繁殖生態と個体群動態

B-24 ○山崎陽平（帝京科学大・院）森貴久（帝京科学大・生命環境・アニマルサイエンス）

タカチホヘビの出現における時間的、空間的分布

B-25 ○湯橋翔（兵庫県立大・環境人間）・太田英利（兵庫県立大・自然研）

淡路島に生息する淡水生カメ類 3 種の食性

11月3日15:45-16:00 閉会式（A会場）

自由集会（カメ会議：視聴覚室）

ポスター発表（ノースウィングN211教室）

11月2日13:30-15:00・11月3日13:00-14:30

- P-01 ○冬木愛実・山浦悠一・中島夕里・石山信雄・赤坂 卓美・中村太士(北大・農)
札幌市都市域における両生類の分布の規定要因
- P-02 伊原禎雄（奥羽大・生物）
福島県南相馬市小高区津波被災地における両生類の回復状況
- P-03 ○林光武（栃木県博）・木村有紀（根本山自然観察セ）
里山のカエルの越冬場所
- P-04 ○三浦智世・照井駿太・草野保（首都大・理工・生命）
アズマヒキガエルの非繁殖期における空間分布
- P-05 ○豊田昇平・島田知彦（愛教大・理科・生物）
田んぼのカエルはいつ鳴くか ―自動録音装置を用いた終夜観察から
- P-06 ○中島文由加・森貴久（帝京科学大・理工・アニマルサイエンス）
アズマヒキガエルの成体における毒の利用条件と防御行動
- P-07 ○小森康之（麻布大・獣）・高槻成紀（麻布大・獣）
長野県アファンの森におけるカエル3種の糞組成の比較
- P-08 松島野枝（国環研）
カエル類の生息分布の推定：宮城県の事例
- P-09 ○藤田宏之・石井克彦（埼玉県立川の博物館）
トウキョウサンショウウオ保全技術の改良例
- P-10 大澤啓志（日大・生物資源）
神奈川県引地川下流部に多産するトウキョウダルマガエルの状況
- P-11 金井亮介（滋賀県大・環境科学）
滋賀県の水田地帯に生息するカエル類の分布状況
- P-12 ○更科美帆・吉田 剛司（酪農大・野生動物）
北海道における特定外来生物ウシガエルの食性
- P-13 ○上井達矢・更科美帆・吉田剛司（酪農大・野生動物）
北海道における外来種トノサマガエル *Rana nigromaculata* は鳴き声で誘引できるか？―水田における効率的な捕獲手法の検討―
- P-14 小林頼太（新潟大・朱鷺自然再生セ）
佐渡島におけるアカガエル類の生息環境
- P-15 岩井紀子（東大演習林）
タゴガエル幼生の成長発育における温度の影響
- P-16 ○志賀優・草野保（首都大・理工・生命科学）
ヤマアカガエルの繁殖活動に影響を与える要因
- P-17 ○芦澤 航（日大・院・生物資源）・大澤啓志・勝野武彦（日大・生物資源）
谷戸におけるツチガエルの産卵場所選択
- P-18 ○小林聡・阿部聖也・松木吏弓（電中研・生物）
印旛沼西岸地域におけるニホンアカガエルの3年間の mtDNA ハプロタイプの動態
- P-19 ○倉林敦・古野伸明・住田正幸（広島大・院理・両生類研）・水野英明（鎌倉市・神奈川県）・大島一彦（コンピュータバイオサイエンス・長浜バイオ大）・Miguel Vences（動物進化・ブラウンシュバイク工大）
カエル亜目における SINE（short interspersed nuclear element）の発見と系統的分布

- P-20 ○Mahmudul Hasan (Inst. Amph. Biol. Hiroshima Univ.), Nia Kurniawan, Aris Soewondo (Dept. Biol., Fac. Math. and Sci., Brawijawa Univ.), Mohammed Mafizul Islam, Takeshi Igawa (Inst. Amph. Biol. Hiroshima Univ.), Wilmientje Marlene Mesang Nalley (Fac. Anim. Husbandry, Univ. Nusa Cendana), Masafumi Matsui (Grad. Sch. Hum. Env. Stud., Kyoto Univ.) and Masayuki Sumida (Inst. Amph. Biol. Hiroshima Univ.).
Evolutionary relationships and postmating isolation among *Fejervarya* species from Lesser Sunda, Indonesia and other Asian countries revealed by mtDNA Cyt b gene sequences and crossing experiments.
- P-21 太田宏 (東北大・高教センター)
 テレメトリー法によるトウホクサンショウウオの 陸上移動の追跡の試み V
- P-22 ○野本和宏 (釧路市博)・照井滋晴 (NPO 法人 PEG)・秋山吉寛 (国総研)
 釧路湿原におけるキタサンショウウオ卵のう双数の経年変化 ～23 年間 (1999 年—2013 年) の調査記録～
- P-23 ○南部久男 (富山科博)・荒木克昌 (ワイルドアイズ)・福田保 (富山東高校)・森大輔 (富山市ファミリーパーク)
 富山県のホクリクサンショウウオの生息状況
- P-24 ○田上正隆 (世界淡水魚園水族館)
 飼育下におけるコガタブチサンショウウオ幼生の給餌による成長
- P-25 ○坂本真理子 (エフトレック)・阪田和弘 (西日本技術開発)・西川完途・松井正文 (京大・人間・環境)
 天草島の流水産卵性サンショウウオについて繁殖場所での観察
- P-26 ○秋山繁治 (清心女子高)
 オオイタサンショウウオの卵から育てた個体での繁殖方法
- P-27 ○丸山一子 (藤沢市)・芦澤航・天白牧夫・大澤啓志 (日大・生物資源)
 神奈川県藤沢市域における爬虫両生類相の 10 年間の変化
- P-28 ○原田一利・近藤洋一朗 ((株)テクノ中部)・山上将史((株)とと・PLANNING)・西村泰典 (トヨタ自動車(株))・島田知彦 (愛教大・理科・生物)
 谷津田圃場における生態系配慮型管理とトノサマガエルのフェノロジー
- P-29 安養寺一馬・卯月康隆・中里建太・○長谷川やまと・中村悟志 (日大・環工)・戸田光彦・中川直美 (自然研)・三谷奈保 (日大・環工)
 グリーンアノール防除のための行動学的研究
- P-30 持田浩治・戸田守 (琉大・熱生研)
 カナヘビ属の体色の多様性
- P-31 ○田畑瑠那・西澤秀明・堀友彌 (京大院情報)・森哲 (京大・理・動物)・三田村啓理・荒井修亮 (京大院情報)
***Elaphe* 属ヘビ類の水中・陸上での運動様式の比較**
- P-32 ○角田羊平 (京都大・院理・動物)・戸田守 (琉球大・熱生研)・森哲 (京都大・院理・動物)
 陸生ヘビによる潮間帯の利用と海産魚類の捕食

ポスター発表（ノースウィングN207多目的室）

11月2日13:30-15:00・11月3日13:00-14:30

- P-33 ○丸山正樹・森貴久（帝京科学大・生命環境・アニマルサイエンス）
対馬に棲息するアカマダラの夏季の食性と活動性
- P-34 ○原田龍一（滋賀県立大・環境科学） 野間口 眞太郎（佐賀大学・農学部）
トカゲとカナヘビのどの部分を狙うとシマヘビは捕食成功するのか？
- P-35 ○天白牧夫（日大・院・生物資源） 大澤啓志・勝野武彦（日大・生物資源）
岐阜県恵那市の農村環境におけるニホンイシガメの行動圏
- P-36 ○西堀智子（和亀）
大正川におけるニホンイシガメ繁殖個体の保全を目的とした放流の試み
- P-37 ○小賀野大一・吉野英雄・八木幸市・田中一行・笠原孝夫（千葉県野生生物を考える会）
房総半島のため池に生息するニホンイシガメの危機的状況
- P-38 ○松木崇司（環境省）、西堀智子（和亀）、横田寿男（環境省）、松井正文（京大・人間・環境）
近畿地方における外来種カミツキガメの捕獲状況について
- P-39 矢部隆（愛知学泉大・現代マネジメント）
岐阜市におけるカメ類の分布と生息状況
- P-40 ○尾崎真澄（千葉県博）
野外で観察された卵殻及び産卵場の特徴を用いたアカミミガメとクサガメの種判別
- P-41 ○野地龍哉（岡山理大・動物）
ニホンスッポンの *Musculus caudifemoralis* についての比較解剖学的研究
- P-42 ○SONG Jae-Young, CHANG Min-Ho (Korea National Park Res. Inst.), CHO Dong-Gil, SHIM Yun-Jin (NEXUS Environmental Design Cntr), KIM Il-Hun (Dept. of Biol., Kangwon National Univ.)
Habitat Replacement and Reconstruction of Freshwater Turtle, *Chinemys reevesii* by HSI
- P-43 竹中践（東海大・生物）
環境改変後の減少から回復した光風園のエゾアカガエル個体群

大会参加者名簿

(アルファベット順, ○は懇親会参加者, 講演番号の太字は演者)

○ 秋田 喜憲	
○ 秋山 繁治	P-26
芦澤 航	P-17 P-27
CHANG Min-Ho	P-42
CHO Dong-Gil	P-42
○ 遠藤 聡子	
○ 江頭 幸士郎	A-19 B-16
○ 藤田 宏之	P-09
○ 福山 欣司	A-03
○ 古橋 美穂	
冬木 愛実	P-01
○ 後藤 康人	
○ 葉田 敬子	
○ 原田 一利	P-28
○ 原 幸治	
○ 原村 隆司	A-02
○ 原 竜也	
長谷川 やまと	P-29
服部 睦	
○ 林 光武	P-03
○ 林 聡彦	
○ 疋田 努	A-07 A-13
○ 太田 宏	P-21
○ 井川 武	A-06 B-10 B-11 B-13 P-20
○ 伊原 禎雄	P-02
○ 石原 孝	B-06 B-07
○ 伊藤 真	B-09
○ 岩井 紀子	P-15
○ 城野 哲平	B-23
○ 角田 羊平	P-32
○ 加賀山 翔一	
○ 皆藤 琢磨	B-18
○ 掛橋 竜祐	B-10

○ 加古 智哉	
○ 亀崎 直樹	B-03 B-04 B-06 B-07
○ 上井 達矢	P-13
○ 金井 亮介	P-11
○ 片岡 友美	
○ 川原 康寛	A-18
○ 木寺 法子	A-12
○ 木村 有紀	P-03
○ 小林 頼太	P-14
○ 小林 聡	P-18
○ 小森 康之	P-07
○ 近藤 洋一朗	P-28
○ 倉林 敦	A-06 B-13 P-19
○ 倉石 典広	
○ 桑原 一司	
○ Haevey B. Lillywhite	A-14
○ 前田 翔太	B-14
○ Islam Mohammed Mafizul	A-16 P-20
○ Hasan Mahmudul	P-20
○ 丸山 一子	P-27
○ 丸山 正樹	P-33
○ 間曾 さちこ	
○ 松井 正文	A-04 A-18 A-19 A-23 B-14 B-15 B-16 B-17 P-20 P-25 P-38
○ 松木 崇司	P-38
○ 松尾 智葉	
○ 松島 野枝	P-08
○ 三笠 友彰	B-02
○ 見澤 康充	A-23
○ 三谷 奈保	P-29
○ 三浦 郁夫	A-05 A-17
○ 三浦 智世	P-04
○ 持田 浩治	P-30
○ 森 哲	A-10 A-12 P-31 P-32
○ 森口 一	
○ 森山 純	

○ 村上 新	B-21
○ 村上 勇樹	B-19
中島 文由加	P-06
○ 南部 久男	P-23
○ Hai Ngoc Ngo	A-15
○ 西堀 智子	P-36 P-38
○ 西川 完途	B-04 B-16 P-25
西村 泰典	P-28
西海 太介	
○ 野地 龍哉	P-41
野本 和宏	P-22
小賀野 大一	P-37
○ 尾形 光昭	A-05 A-17
小川 由貴	
○ 岡本 慶	B-04 B-06
○ 岡本 卓	B-20
○ 大澤 啓志	P-10 P-17 P-27 P-35
○ 太田 英利	A-08 B-25
○ 尾崎 真澄	P-40
ノエリカント ラマモンジス	A-20
○ 原田 龍一	P-34
○ 齋藤 和範	A-01
○ 坂部 あい	
○ 酒井 理	
○ 坂 雅宏	B-05 B-12
○ 坂本 真理子	P-25
更科 美帆	P-12 P-13
○ 笹井 隆秀	B-08
○ 佐々木 史江	
○ 佐藤 広康	
○ 佐藤 孝則	A-21
○ 柴田 弘紀	A-09
○ 志賀 優	P-16
SHIM Yun-Jin	P-42
○ 島田 知彦	B-14 P-05 P-28
○ 篠塚 理	

○ 塩崎 大	A-22
SONG JAE-YOUNG	P-42
○ 住田 正幸	A-06 A-16 B-10 B-11 B-13 P-19 P-20
○ 鈴木 大	A-07
○ 鈴木 大輔	B-01
○ 田畑 瑠那	P-31
○ 多田 哲子	B-05 B-12
○ 田上 正隆	P-24
○ 高橋 洋生	B-19 B-22
○ 竹中 踐	P-43
玉田 祐介	
○ 天白 牧夫	P-27 P-35
○ 戸田 守	A-11 B-08 B-18 P-30 P-32
○ 戸田 光彦	B-22 P-29
○ 戸金 大	
○ 徳田 龍弘	
○ 富永 篤	B-14 B-15
豊田 昇平	P-05
○ 辻井 聖武	
○ 塚本 誠人	
○ 上野 真太郎	B-03
○ 渡辺 愛	B-13
○ 渡辺 潔	
○ 矢部 隆	P-39
○ 八木 愛	
○ 山上 将史	P-28
○ 山本 一成	A-24
○ 山崎 陽平	B-24
○ 吉川 夏彦	A-04 B-15 B-17
○ 吉村 雅子	
○ 湯橋 翔	B-25